

全工期無災害表彰授与式を行いました。

店社名：鹿島建設株式会社 横浜支店

現場名：スタンレー電気(株)技術研究所再構築建替え工事

工期：令和6年4月1日～令和8年月31日

工事概要：RC造 地上5階 最高高さ 19.97m

延床面積：8602.15 m²



この度、横浜北労働基準監督署において全工期無災害を達成した鹿島建設株式会社横浜支店 スタンレー電気(株)技術研究所再構築建替え工事への表彰授与式を行いました。受賞された現場代理人の小川博之さん（写真左）に、無災害達成の秘訣や安全管理に対する思いを伺いました。

Q1 全工期無災害を達成した感想をお聞かせください。

A1 全工期無災害は1日1日の無災害の積み重ねの結果ですから、当現場に携わっていただいた全ての方にお礼を言いたいです。ありがとうございました。

Q2 安全管理で苦労した点は何ですか。

A2 ベテラン（高齢者）や技能実習生等、建設技能者の構成が多様化する中で、従来型の安全活動（朝礼での安全指示、段差解消、各種表示）では十分ではないためその対応に苦慮しました。

Q3 特に力を入れた点や工夫した点がありますか。

A3 毎日、私が新規入場者受入れ教育を行うことで、全ての技能者の方と話をしよう努めました。

Q4 協力会社や作業員とのコミュニケーションで心掛けたことはありますか。

A4 同じ現場で働く仲間ですので、私の方から笑顔で、本人の名前で声掛けするように努めました。特に安全については「指摘する」よりも「まわりにも聞こえるように褒める」ことが多かったです。

Q5 無災害達成につながった一番の要因は何だと思いますか。

A5 新たに始まる作業や、変更が発生した際には、常に関係者全員で手順の周知会を行いました。これを現地 KY と組み合わせることで危険感受性が高まり、災害の芽を摘むことができたと思います。

Q6 安全に対する思いや今後の抱負をお願いします。

A6 私は「現場で働く自覚と誇り -その一瞬、その一瞬を大切に-」を所長方針に掲げています。プロとしての誇りを持ち、各プロセスにおけるその一瞬、その一瞬を大切にしながら工事を進めていただきたいと思います。